

徳島県知事 殿

徳島県奨学のための給付金受給申請書

次の4点を確認の上、□にレ点を付けてください。

- この申請書の記載内容は、事実に相違ありません。
この申請書に虚偽の記載があった場合は、徳島県の求めに従いその全額を即時返還します。
私は徳島県以外の都道府県に高校生等奨学給付金の申請は行っていません。
この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費（見学旅費又は特別育成費（母子生活支援施設の高校生等を除く））の支弁対象ではありません。

徳島県奨学のための給付金の受給を関係書類を添えて申請します。

該当者はレ点 □ 新入生早期申請 □ 家計急変

申請者住所等 (〒, TEL, ふりがな, 申請者氏名)
高校生等との関係 (親権者, 未成年後見人, 未成年後見人である里親, 主たる生計維持者, 生徒本人, その他)

【1】【対象となる高校生等について】

Table with columns: ふりがな, 生徒氏名, 生年月日, 昭和/平成, 基準日時点の年齢, 学年, 学校名, 学校の種類等, 学校の所在地, 在学期間, 過去の他の高等学校等における在学期間

※審査担当者使用欄 (使用しないでください)

裏面につづく

支給決定額 円

※家計急変 月 日 (/ 12)

【2】【高校生等の国籍・在留資格・在留期間等について】

全員記入

(次のいずれかの該当する□にレ点をつけてください。)

高校生等本人の国籍を以下のとおり申請します	
①	<input type="checkbox"/> 日本国
②	<input type="checkbox"/> 日本国以外

【3】【高校生等の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等を確認するための添付書類について】

全員記入

(高校生等の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等を確認するため、いずれかの□にレ点をつけてください)

高校生等本人の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等の確認のため、以下のとおり申請します	
①	<input type="checkbox"/> 「高等学校等就学支援金等の支給決定通知書」を添付します。 (注) 早期申請では利用できません。
②	<input type="checkbox"/> 「住民票の写し(市町村発行の 原本 :コピー不可)」を添付します。 ※国籍が「日本国」の生徒は 本籍 が記載、「日本国以外」の生徒は 国籍・在留資格・在留期間等 が記載された住民票の原本
③	<input type="checkbox"/> 「特別永住者証明書の写し(コピー)」を添付します。
④	<input type="checkbox"/> 「在留カードの写し(コピー)」を添付します。

上記【2】で「② 日本国以外」を選択した場合、かつ【3】の②～④を選択した方は、以下の該当する□にレ点をつけてください。また、必要事項を記入してください。

高校生等本人の国籍・在留資格・在留期間等を以下のとおり申請します			
①	<input type="checkbox"/> 特別永住者		
②	<input type="checkbox"/> 永住者		
③	<input type="checkbox"/> 日本人の配偶者等		
④	<input type="checkbox"/> 永住者の配偶者等		
⑤	<input type="checkbox"/> 定住者		
⑥	<input type="checkbox"/> 家族滞在	在留期間(満了日)	(西暦) 年 月 日
		日本国の小学校の卒業の有無等	<input type="checkbox"/> 卒業した <input type="checkbox"/> 卒業していない
⑦	<input type="checkbox"/> 上記以外の在留資格(留学等)	在留期間(満了日)	(西暦) 年 月 日
		日本国で就労する意思の有無	<input type="checkbox"/> はい(あり) <input type="checkbox"/> いいえ(なし)

高校生等の国籍が「日本国以外」であり、在留資格が「家族滞在」の方で、下記のすべてに該当する場合は、⑧⑨の□にレ点をつけてください

・上欄の ⑥ 家族滞在の欄で、「日本国の小学校及び中学校を卒業した」にレ点を付けた	
・上欄の ⑥ 家族滞在の欄で、「日本国で就労する意思がある」にレ点を付けた	
⑧	<input type="checkbox"/> 「日本国の小学校の卒業証書の写し(コピー)又は卒業証明書」を添付します。
⑨	<input type="checkbox"/> 「日本国の中学校の卒業証書の写し(コピー)又は卒業証明書」を添付します。

全員記入してください

【保護者等の収入の状況について】 (該当する□にレ印を付けてください。)

- ・生活保護受給世帯の方：(1)を記入してください
 - ・道府県民税・市町村民税所得割額が非課税世帯の方：
 - ・道府県民税・市町村民税所得割額の合算額が182,500円未満の世帯の方
 - ・家計急変により保護者等の道府県民税所得割及び市町村民税所得割額の合算額が182,500円未満まで減少する見込みの世帯の方：
- (2)(3)を記入してください

(1) 生活保護(生業扶助)受給世帯の方	
生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助(高等学校等就学費)を受給していることが分かる証明書を提出します。	
<input type="checkbox"/>	生業扶助(高等学校等就学費)を受給していることが分かる証明書(生活保護受給証明書等)

(2) 住民税非課税世帯の方、道府県民税・市町村民税所得割額の合算額が182,500円未満の世帯の方	
家計急変により保護者等全員分の道府県民税・市町村民税所得割額の合算額が182,500円未満まで減少する見込みの世帯の方	
<input type="checkbox"/>	基準日現在、生徒に対する生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助は受給していません。

上記□には必ず✓を記入してください
 下記の①～⑥には該当する□に✓を記入してください
 次の保護者等の地方税の課税状況がわかる書類(個人番号または課税証明書等)を提出します

①	<input type="checkbox"/>	親権者(両親)2名分 ※高校生等が未成年(18歳未満)であり、親権者(両親)が2人存在する場合
②	<input type="checkbox"/>	親権者1名分(親権者が、一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、その者を除く。) ・離婚、死別等により親権者が1名の場合 ・親権者が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の地方税の課税状況が分かる書類を提出できない場合 等 (この場合の家庭の事情とは、ドメスティックバイオレンス、養育放棄等の事情が存在する場合等が該当します。)
③	<input type="checkbox"/>	未成年後見人()名分 ・親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合 (未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分) ※未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除く。
④	<input type="checkbox"/>	高校生等の生計をその収入により維持している者(主たる生計維持者)(両親等)2名分 ・高校生等が在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から申請の時点まで生計を維持する者に変更がない場合
⑤	<input type="checkbox"/>	主たる生計維持者1名分 ・親権者又は未成年後見人が存在しない場合 ・成人に達しているが、主たる生計維持者が存在する場合 等
⑥	<input type="checkbox"/>	高校生等本人 ・親権者、未成年後見人、又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合

(3) 地方税の課税状況がわかる書類を提出する者の氏名等及び生徒との続柄を記入してください。

ふりがな 氏名	続柄	ふりがな 氏名	続柄
※本人による自署		※本人による自署	

個人番号を提出する場合のみ、下記へ記入してください。					個人番号を提出する場合のみ、下記へ記入してください。						
生年月日 ※西暦8桁で記入	1	9	年	月	日	生年月日 ※西暦8桁で記入	1	9	年	月	日
課税地 ※1月1日時点の居住地	都道府県		市区町			課税地 ※1月1日時点の居住地	都道府県		市区町		